

あゆみ

社 会 保 険
二 本 松 病 院

三本松市成田町1-553
☎0243-23-1231
☎0243-23-5036
<http://www.shaho-nihonmatsu.com>
発行責任者:院内外報編集部



新年を迎えて

病院長 有 壁 讓

明けましておめでとうございます。

昨年は、数十年ぶりの猛暑により、熱中症の患者さんが多く発生し、次々と病院に運ばれました。これにより熱中症という病名が、一般に認められたといえます。また日本近辺でも尖閣列島事件や北朝鮮による砲撃事件などが起こり、世界中で国家間の争いが絶えない辛い時代であることを、身近に感じさせられました。そんな中チリの鉱山事故からの奇跡の生還には、「よくがんばった」と世界が一つになって湧きかえり、感動の嵐となったことは喜びでした。日本では二人のノーベル賞受賞、この世界に先駆けた研究が現在大いに人類に役立っているのを知り、嬉しく思いました

当院をみますと、従来からの問題である常勤医の不在科に対する医師充足は、最近の医師の大都市偏在傾向によ

り出来ませんでした。加えて皮膚科の柳堀先生が開業されることになり、その後任はなく、この一月から皮膚科休診とならざるを得ないのは残念なことです。このように病院機能の低下をきたしていることは辛く、私の責任において今後とも努力いたします。

また医療の安全、質向上に関しましては常に改善を継続し、皆さんが安心してご満足いただける医療の提供に今後とも邁進いたします。昨年はレントゲンフィルムを廃止した結果、スピーディに見やすい画像で、レントゲンの結果説明が可能となりました。今後も皆様の役に立ちますように、可能な限り良い医療機器やIT化システムを取り入れていきたいと考えております。

さて平成十四年以来、皆さんにご心配をおかけしている社会保険病院の存続問題につきましては、昨年鳩山政権

の総辞職により、あと一步のところでは法案が廃案となり、私も悔しい思いをいたしました。今年度の国会で法案が再提出され、そして可決されますよう多方面に働きかけてまいる所存です。

二本松病院は今年度も、医療、介護の連携を最大限重視し、地域におけるセーフティーネットでありたいと思います。そのためにも、あらゆる場面において皆様の信頼を常にいただき、これまで以上に地域になくてはならない病院となるように、努力いたします。

本年も笑顔、真心、思いやりの行動規範を忘れることなく、職員一同張り切ってがんばりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



年頭の挨拶

「言葉」より「行動」で



副院長
山崎 正明

あけましておめでとうございます。今年も皆さんが健康で過ごせるようにお祈り申し上げます。

近年、物理学の進歩にはめざましいものがあります。小柴昌俊氏が宇宙ニュートリノの検出に成功して、また益川敏英・小林誠両氏が六種類のクォークの存在を理論的に予言して（後に存在が証明された）、それぞれがノーベル賞を受賞されています。これらの証明は「素粒子の標準模型」の確定に大いに寄与しました。自然界の物質は六種類のレプトンと六種類のクォークからつくられており、例えば電子やニュートリノはレプトンに属し、原子核の陽子や中性子はクォークからできていることがわかったのです。そしてこれらの粒子の間には「強い力」、電磁力、「弱い力」そして重力の4つの力が作用しているのだそうです。電磁力は分子形成やエレクトロニクスに、重力は万有引力、宇宙物理学にそれぞれ関与していることは皆さんがご存知の通りです。「強い力」は原子核、核融合、太陽エネルギーに、「弱い力」は中性子崩壊、ニュートリノにそれぞれ関与しているのだそうです。

す。さらにこれら四つの力を伝える粒子もわかっています。それぞれグルーオン、光子、ウィークボソンおよび重力子です。これらの媒介粒子をやり取りして力が作用しているのだそうです。すなわちミクロの粒子をやり取りして物質同士が影響し合っていることが証明されているのです。

さて、人と人の間に作用しているものは何でしょうか？人の「心」や「思い」は、外からは判断できません。その人の言葉だけでなくもわかりません。人の言葉はいろいろと修飾されていることが多いからです。他人の言葉だけでごまかされてしまうことはありえる事です。我々の「心」や「思い」を素粒子物理学に例えれば、ヒトの素粒子かもしれない。良い素粒子をいっぱい持ちたいものです。そしてヒトとヒトの間の媒介粒子は「行動すること」だと思います。「行動すること」は目に見えるから相手に正しく理解されるのです。「心」や「思い」は外からは判断できませんが、行動すれば「心配り」や「思いやり」として理解されるのです。今年は、「言葉」より「行動」で行きましょう！

自分や家族がしてほしい
看護・介護の提供を



看護局長
富永 昭子

新年 明けましておめでとうございます。寅年であった昨年は、何かに追われるよう急速に一年が過ぎたように思います。今年はずらに敏捷で活発な兎年、どんな年になるのでしょうか。

敏捷・活発についていけるか、ちょっと不安ではありますが、スタートです。社会保険病院を取り巻く情勢は未だ厳しく、落ち着くまでもう少し時間がかかりそうですが、地域の皆様が「地域にとつて、なくてはならない病院である」と実感した上でのご支援がいただけるよう、昨年以上に努力をしていかなければならないと感じております。

「近くの病院だから受診した」ではなく「あの病院にいけばここが安心」「あの先生に治療してもらいたい」「あの病棟だから入院したい」「専門の知識をもった看護師がいるから」など選択要素の幅を広げる努力をしなければなりません。この言葉をいただくことは、難しいことではなく倫理的配慮と職業人としての自覚があれば実現できるものと考えますし、その人材育成に努力してきました。地域を大きな家族と考え、家族に安心できる柔軟性のある看護・介護の提供をするところをえながら、今年も頑張りましょう。こうした姿勢に必ず結果はついてくると確信しています。

昨年は、院外の研修に数多く参加し、外の刺激を受けながら病院の評価が正しくできる努力をいたしました。日々の看護・介護に少しずつではありますが変化と視点の広がりを感じています。今後は、人員に余裕を持って人材育成ができるよう人員確保に努力していきたいと思っています。

近年、本人の興味に感じ、さまざま資格が取得できるようになりました。昨年は、医療安全管理者一名、糖尿病療養指導士（フットケア技術）一名、医療環境管理士一名の資格取得者が加わり、リスク分析、フットケア外来、院内感染管理など活発に活動しています。こうした資格保持者であるリソースナースが生き生きと輝き、高いモチベーションを保ちながら活躍できる風土は、管理者のマネージメント力が大きく関係します。臨地実習にキャンパス提供をしている当院にとつて、活躍の場が与えられ、輝く看護師の姿は実習生に大きな夢を与え、看護師確保及び定着につながるものと思っています。

入院時から関わる在宅生活支援、MSWやケアマネージャーとともに他職種と連携し支援しています。訪問看護は二十四時間体制で対応し、ホームヘルパーへの痰吸引やフットケアの講演・実技指導など、外部との連携に力を入れ今後さらに期待できる場所です。チーム医療。患者様や利用者様の思いを大事に受け止め、暖かい支援と感じていただけるよう、精一杯の努力したいと思えます。今年もどうぞよろしくお願いたします。



医療環境管理士を取得して



4階病棟
齋藤 宏子

昨年八月に医療環境管理士の検定を受験しました。当初は医療検定に関しては興味はありませんでしたが、ICT委員会のメンバーとして活動するにしたいという必要な知識が欲しい、学びたいという気持ちになり受験することにしました。感染の予防・対策・管理についてのテキストはかなり厚いものでなかなか勉強は捗りませんでした。しかも前回の合格率が五〇%と聞いており、合格率があまり高くない勉強しながらも諦めもあったと思います。しかし合格の通知が来たときは久しぶりにテンションが上がりました。検定が合格してもその後には認定講習会もあり、今回はサーベイランスの講習とグループワークがありました。認定講習会の内容は毎回、変わりその時の感染に関するテーマがあるようで今回は新型コロナウイルスエンザについて……だったようです。サーベイランスについては検査部に任せきりの所があり私にとって苦手な分野であり勉強不足でした。内容はサーベイランスの定義から歴史、目的、種類、などに涉り基礎から実践に向けてでした。後半は各種のメンバーと「感染対策教育の現状と課題」というテーマでグ

ループワークがありました。受験者は看護師以外にも医師、薬剤師、検査技師、医療機器メーカーの方やビルメンテナンスタの方など多職種に涉っておりテーマに沿っていろいろな話を聞く事ができました。グルーブワークの内容は、①病院全体の感染に対する危機管理について、②感染に対するスタッフの温度差、③タイムリーでの情報の共有、④eランニングを使用する教育、⑤幼少時期からの感染に対する教育、⑥感染管理者への負担が多いなど、看護師との話の内容も充実していました。医療機器メーカーの話はかなり耳が痛い内容もあり現実として受け止めなくてはいけないと思いましたが。外部の医療機器メーカーの方から話を聞くと病院回りをしていると病棟などの水回りを見ただけで感染対策がどのような感じなのか想像がつくと言われ胸がズキン……としました。検査技師の方からは耐性菌など病棟スタッフなど情報を共有されていない。看護師以外の方からの意見は当たりまえであつても現実には自分の職場ではどうだろうと考えさせられました。今回、検定の受験以外に講習会やグルーブワークは現場の意見交換ができ有意義な研修会だったと思えました。今後も感染に関してみなさんの協力が必要となりますのでよろしくお願ひします。

栄養課より

ためしてレシピ!

餅ピザ

正月の余った餅をフライパンでサクサクと3~4枚の餅ピザをお試しください。



*材料 4人分

薄めの切り餅	4~5枚
ピザソース	適量
ピザ用チーズ	適量
サラミ・ゆで卵	適量
ピーマン	1個
玉ねぎ	1/4個

*上にのせる具はお好みで結構です。
サラダ油 …………… 大さじ1

*作り方

- ①のせる野菜・サラミ・ゆで卵をスライスしておきます。
- ②油を引いたフライパンに餅をまともり合うように並べたら、蓋をして中火で加熱して底の部分が焼けてきたら、フライ返しで裏返します。
- ③ピザ用ソースを塗り、具材をトッピングし、チーズをのせて蓋をして、約5分ほど焼きチーズが溶けてきたら出来上がりです。

私の趣味マラソン

三階病棟 看護師 佐藤 綾子

「一体何が楽しくて走るのか？」マラソンをしていると周囲の人によく聞かれる質問です。走り続けて7年間、いろいろなことがありました。当たり前ですが楽しいことばかりではなく、仕事で落ち込むことも、走る気分じゃない日も沢山ありました。

それでも、無心に走って汗をかくと「何とかなる、こんな悩み小さい！小さい！」と思えるところが私は好きです。そして苦しかったレースの後やトレーニング後のご褒美ビールが大好きです。

毎日を頑張って楽しく前向きに走り続けると必ずゴールがあります。

みなさんも“美ジョガー”を目指して走ってみてはいかがでしょうか？



年男年女



渡辺 弘子
3階科長

いよいよ停年を迎える年となりました。家族や職場の仲間感謝して、健康に留意し最後まで力の限り頑張つてご奉公する1年としたいと思います。

安田 美紀子
5階科長

現役最後の年女！あと何回年女が迎えられるかな？がんばります。

斎藤 敏和
放射線技師長

いつの間にか5回目です。さっそくJR「大人の休日倶楽部ジパング」を申請します。

佐藤 のり子
5階

美と健康にウォーキングががんばるぞ！

大滝 晴央
施設課

卯、うれしいことがたくさんあるように、頑張ろう!!

国分 美恵子
外来

今年も一年健康で仕事、趣味に勤しみたいと思います。

渡辺 英子
栄養課

3年目突入！今年も皆様のお役にたてるようお仕事頑張ります。

紺野 久美子
検査部

「思いやり」を忘れず「正確・迅速」を目標に頑張ります。

佐藤 ヨシ子
中材

何事も一歩前へ進みつつ、確実な確認の年にしよつと思ひます。

菅野 美幸
5階

仕事、私生活、車の運転…何事も事故の無いよう心して頑張ります。

野内 由美子
5階

今年もマイペースで！

高橋 富夫
庶務係兼健診業務係

今年も元気に笑顔で仕事に取り組みたいと思います。

佐藤 綾子
3階

今年も元気に笑顔で仕事に取り組みたいと思います。

石橋 和恵
4階

干支のうさぎの様にピョンピョン元気に跳ね続けたいと思ひます。

先崎 英司
ME課

定期的に運動をして、100cmある腹囲を85cmまで減らしたい。

國分 裕子
4階

節約ダイエツト

二十二年度の行動規範

笑顔 真心 思いやり

今月の目標

積極的に

取り組む姿勢

忘れずに

関和 良太



編集後記

あけましておめでとうございませう。皆さんは、どのような新年を迎えたでしょうか？毎年、ついつい食べ過ぎてしまう人も多いはず……！健診結果のギリギリラインをキープしながら、自分のため、家族のため頑張っている人もいます！

そのエネルギーを〇〇のために燃やして、健康（元気が一番!!）に気をつけて一年間を過ごしましょう。

二本松病院は、地域の皆様により一層良質な医療を提供できるよう努力していきます。今年もどうぞ宜しくお願い致します。

(Y・M記)

「お詫び」

発行が遅れましたことお詫びいたします。

—あゆみ編集委員会—